

CONTENTS

CHAPTER 1	はじめに	4
1 ●	安全上の注意	5
	本体使用上の警告 / 6	
	電源、電源コード使用上の警告 / 7	
	本体使用上の注意 / 8	
	電源、電源コード使用上の注意 / 9	
	健康上の注意 / 9	
	本製品取り扱い上の注意 / 10	
CHAPTER 2	基本操作	11
1 ●	各部の名称と機能	12
	前面パネル / 12	
2 ●	起動の方法	14
	起動の方法 / 14	
3 ●	初回設定	16
	初回設定の手順 / 16	
4 ●	終了の方法	19
	終了の方法 / 19	
CHAPTER 3	ご利用に関して	21
1 ●	サーバーへの接続方法	22
	サーバーへの接続方法 / 22	
2 ●	ユーザー追加方法	25
	新しいユーザーを追加する / 25	

3 ● 共有フォルダの作成	29
共有フォルダを作成する / 29	
アクセス許可をカスタマイズする (全てのユーザーで読み書き可能にする場合) / 34	
アクセス許可をカスタマイズする (作成したユーザーを追加する場合) / 35	
Guest アカウントについて / 38	
4 ● Windows Update の実行	41
Windows Update を実行する / 41	
5 ● 3.5 インチ HDD 交換方法	42
3.5 インチ HDD 交換前の注意事項 / 42	
3.5 インチ HDD 交換手順 / 43	
6 ● RAID BIOS の設定	48
RAID BIOS で RAID 環境を構築する / 48	
7 ● Windows Storage Server のメディアリカバリ	53
Windows Storage Server を再インストールする / 53	

ご使用になる前に必ずお読みください

■ パソコンの設置及び動作使用環境について

- ・本製品の使用環境は、温度 10℃～35℃、湿度 8%～80% を超える環境で使用しないでください。故障の原因となります。
- ・本製品の通気口、排気口を塞ぐ又は遮断される場所に設置をすると、パソコン内部が高温となり、動作が不安定となったり、故障の原因となります。
- ・本製品には、落雷等による電源の瞬停（電圧低下）に対する保護機能は搭載されていません。これを防ぐ手段として、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることを推奨いたします。
- ・本製品は、日本国内でのみご使用ください。

■ ハードディスクについて

- ・ハードディスクは、一般的に消耗部品となっております。重要なデータのバックアップは適時、お客様において行っていただくようお願いいたします。
- ・ハードディスクに保存されたアプリケーション及びデータ等は、いかなる場合であつても弊社は保証いたしません。
- ・ハードディスクは、衝撃、振動、温度等の影響を受けやすい部品です。起動した状態で衝撃、振動を与えないでください。

■ 著作権・商標について

- ・著作権法により保護される映像、画像、音声等を、本製品を使用して取り込んだ場合、個人として私的に使用する場合を除き、権利者に無断でそれらを使用することは、著作権法上禁止されております。また、権利者の許可なく、取り込んだ映像、画像、音声等に変更及びその他改変を加え、著作物の同一性を損なうことも禁じられています。
- ・著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。
- ・権利者の許諾を得ることなく、本製品に付属するソフトウェア及びマニュアルの内容を複製すること及びソフトウェアを賃貸、コピー、リース又は再使用許諾することは、著作権法上禁止されております。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。なお、本文中に™、® マークは明記していません。

CHAPTER

1

はじめに

1 ● 安全上の注意	5
------------------	---

CHAPTER

1

2

3

安全上の注意

製品を安全にお使いいただくための項目を記載しています。

記載内容を守っていただけない場合どの程度影響があるかを表しています。



警告

人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。



一般禁止

その行為を禁止します。



分解禁止

分解を禁止します。



接触禁止

特定場所に触れることを禁止します。



ぬれ手禁止

ぬれた手で扱うことを禁止します。



水ぬれ禁止

水がかかる場所や、水に濡れたままで使用することを禁止します。



火気禁止

外部の火気を使用することを禁止します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。



使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。



電源コードのプラグを抜くように指示するものです。



アースリードを接地することを指示するものです。

本体使用上の警告



警告



- 煙や異臭・異常な音・手で触れないほど熱いときは、すぐに本製品の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・やけど・感電の恐れがあります。



- 雷が鳴り出したら、本製品や本製品に接続されているケーブル類（電源コード、USB ケーブルなど）に触れたりしないください。また、機器の接続や取り外しを行わないください。落雷による感電の恐れがあります。



- ビニール袋などの梱包材料はお子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所へ保管してください。口に入れたり、頭からかぶったりしての、窒息事故の恐れがあります。



- 不安定な場所に置かないください。転倒・落下等によりけがをする恐れがあります。



- 本製品を改造・分解しないください。感電・発煙・発火の原因になります。



- 本製品を火中に投入・加熱あるいは端子をショートさせたりしないください。発熱・発火・破裂の原因になります。



- 本製品の内部に次のような異物を入れないください。
 - ・金属物
 - ・水などの液体
 - ・燃えやすい物質
 - ・薬品
 回路がショートして火災の原因になります。



- 装置の通気口をふさがないください。内部に熱がこもり発煙・発火の原因となることがあります。

電源・電源コード使用上の警告



警告



電源は AC100V (50/60Hz) を使用してください。
異なる電圧で使用すると感電・発煙・火災の原因になります。



安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



電源コードを取り扱う際は次の点をお守りください。

- ・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
 - ・つけ根の部分を無理に曲げない
 - ・重いものを載せない
 - ・布などでくるまない
 - ・屋外で使用しない
 - ・水などの液体がかかる場所で使用しない
- 発煙・発火・火災・感電の原因になります。



破損した電源コードは使用しないでください。
電源コードが破損した場合、テープなどで修復して使用しないでください。
修復した部分が加熱し、火災や感電の原因になります。



電源コードは付属のものを使用し、そのプラグを壁や床に設置されている定格 100V のコンセントに直接差し込んでください。
延長コード等は使用方法によっては発煙・発火・火災・感電の原因となることがありますので十分ご注意ください。



タコ足配線にしないでください。
電源コードをタコ足配線にするとコンセントが加熱し、火災の原因になります。

本体使用上の注意



注意



- 本製品を次のような場所で使用・保管しないでください。
 - ・風呂場など湿気の多い場所
 - ・料理台や加湿器のそばなど水・湿気・湯気・塵・油煙などの多い場所感電の原因になります。万一製品に液体がかかった場合は、電源をオフにして各店舗にお問い合わせください。乾いているようでも内部に水分が残っていることがあります。



- 光学ドライブのトレイが出た状態で使用する場合は、十分に注意してください。
光学ドライブのトレイに強くぶつかったり、手や足をひっかけたりすると、けがや破損の原因になります。



- 光学ドライブは絶対に分解しないでください。
故障・発熱・破損・感電の原因になります。



- 光学ドライブなどのレーザー光源を直接見ないでください。
目の痛みなど障害を起こす可能性があります。



- 添付の CD-ROM・DVD-ROM ディスクなどは、各対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。
大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーやディスクを破損する原因になります。



- 液晶ディスプレイ表面に傷をつけないでください。
- 液晶ディスプレイの表面や外枠部分を強く押さないでください。



- 光センサーマウスの底面の光を直接見ないでください。
目の痛みなど障害を起こす恐れがあります。

電源・電源コード使用上の注意



注意



ぬれた手で触らないでください。

電源コードが接続されているときにぬれた手で触ると、感電の原因になります。



クリーニングの前には必ず本製品や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

電源を切らずにクリーニングを行うと、感電の原因になります。



電源コードのプラグにほこりがたまったままの状態では本製品を使用しないでください。火災の原因になります。



長期間使用しないときは電源コードを抜いてください。

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

健康上の注意



注意



・ディスプレイを長時間継続して見ないでください。

・キーボードやマウスを長時間継続して使用しないでください。

目の疲れ・視力低下・腕や手首が痛くなることがあります。身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本製品の使用をやめて休息してください。万一休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師に相談してください。



ヘッドホンやヘッドホンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。

大きな音量で長時間使うと、聴覚に悪い影響を与えることがあります。



ヘッドホンやヘッドホンマイクを装着した状態でプラグの抜き差し、本製品の電源のオン・オフ、省電力状態・復帰の操作をしないでください。

聴覚に悪い影響を与えることがあります。

本製品取り扱い上の注意

- 次のような場所では、使用・保管しないでください。
ホコリが多い場所・衝撃や振動が加わる場所・不安定な場所・暖房器具の近く・磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカー、温風式こたつなど）の近く・長時間直射日光が当たる場所・落下の可能性がある場所・テレビ・ラジオ・コードレス電話などの近く・熱のこもる場所・水分や湿気が多い場所・夏の閉めきった自動車内
誤動作や故障の原因となることがあります。

- 次の環境で使用してください。
温度 10℃～35℃、湿度 8%～80%（結露しないこと）

- 本製品を使用する際は、次のことに気をつけてください。
 - ・平らで十分な強度がある場所で使用してください。
 - ・結露した状態で使用しないでください。誤動作・故障の原因になります。
 - ・本製品の上にものを載せないでください。また、通気口をふさがないでください。
 - ・本製品のそばで飲食や喫煙をしないでください。
 - ・本製品を改造しないでください。当社の保証やサービス対象外になることがあります。
 - ・先のとがったもので傷をつけないでください。
 - ・ハードディスク・DVD・CDなどにデータの記録中は、本製品に振動や衝撃を与えないでください。
 - ・静電気に注意してください。本製品は静電気によって故障・破損することがあります。
 - ・電源を入れたまま本製品を動かさないでください。
 - ・付属の電源コードは本製品以外に使用しないでください。
 - ・PC本体を膝の上・布製品の上などにおいて使用しないでください。

- DVD、CD ディスクなどを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。
 - ・データ面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。
 - ・先のとがったものでディスクに傷をつけないでください。
 - ・上に重いものを載せる・曲げる・落とすなどしないでください。
 - ・汚れたディスクは使わないでください。
 - ・ディスクが汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
 - ・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。
 - ・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
 - ・使わないときは収納箱（または袋）に入れて保管してください。
 - ・直射日光の当たる場所や温度の高い場所に保管しないでください。

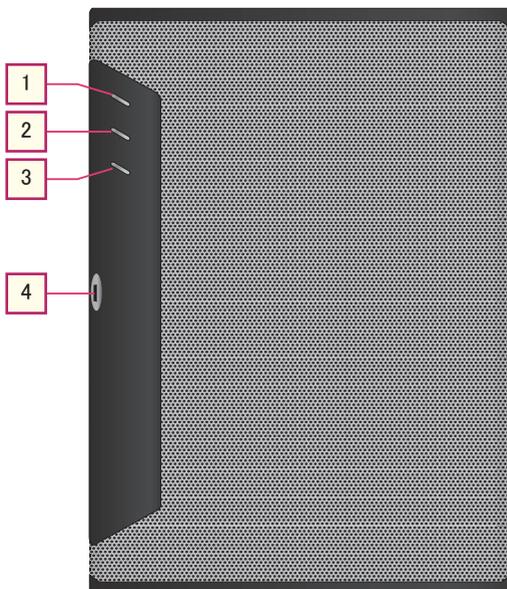
基本操作

1 ● 各部の名称と機能	12
2 ● 起動の方法	14
3 ● 初回設定	16
4 ● 終了の方法	19

各部の名称と機能

サーバー各部の説明をしています。

前面パネル



1 Power LED

電源投入時に青色に点灯します。

2 HDD LED

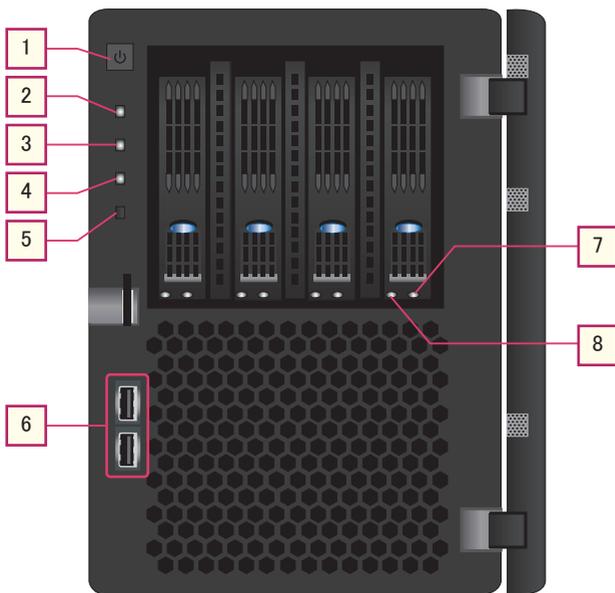
HDD アクセス時に青色に点滅します。

3 FAIL LED

本製品では使用されません。

4 鍵

開閉できないように施錠します。

**1 電源ボタン**

電源を投入するためのボタンです。

2 Power LED

電源投入時に青色に点灯します。

3 HDD LED

HDD アクセス時に青色に点滅します。

4 FAIL LED

本製品では使用されません。

5 リセットボタン

操作を受け付けなくなった時などに再起動するためのボタンです。

6 USB 端子

USB 機器を接続します。

7 HDD Power LED

電源投入時に青色に点灯します。

8 HDD LED

HDD アクセス時に緑色に点滅します。

2

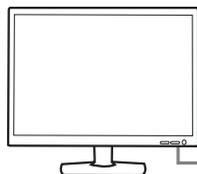
起動の方法

電源の入れ方を説明しています。

起動の方法

1. 各種デバイス (マウス、キーボード、ディスプレイ、LAN など) を接続します。

① ディスプレイを接続します。



④ 電源コードをサーバーの電源端子に接続します。



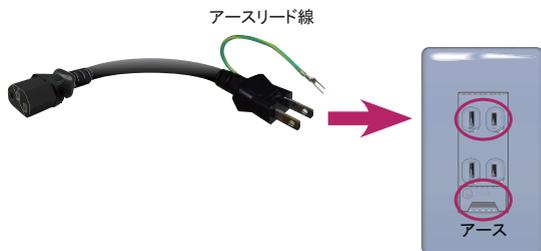
② LAN を接続します。



③ USB マウス、キーボードを接続します。



2. 電源コードを接続します。



注意

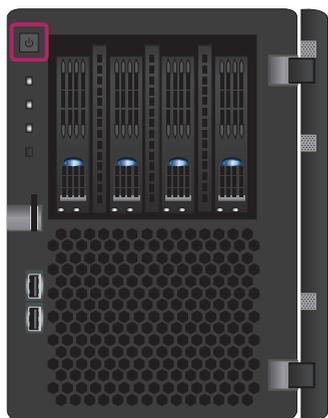
壁付けのコンセントから直接電源を取るようにしてください。また、アースリード線があるコードは、電源プラグをコンセントに接続する前に、必ず、アースリード線を設置してください。

3. ディスプレイの電源を入れます。



ディスプレイの電源ボタンの位置については、ディスプレイに付属されているマニュアルをご確認ください。

4. サーバー本体の電源ボタンを押して、電源を入れます。



3

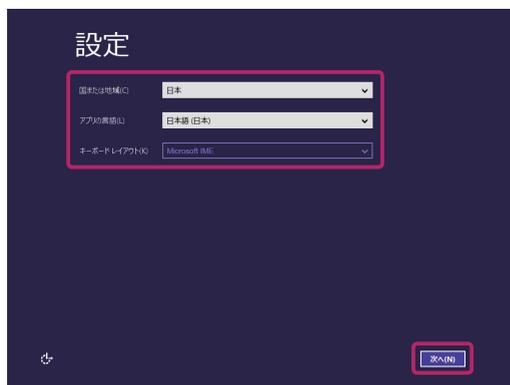
初回設定

Windows Storage Server がインストールされているパソコンで、最初に行う設定の方法を説明しています。

Windows Storage Server インストールモデルでは、電源を投入すると OS の初回設定が行われます。しばらくは黒い画面での自動作業が行われます。パソコンに触れずにお待ちください。下の画面に変わったら、操作を開始してください。

初回設定の手順

1. 設定画面の表示を確認し、変更が必要な場合は設定の変更を行い、「次へ」をクリックします。



ワンポイント

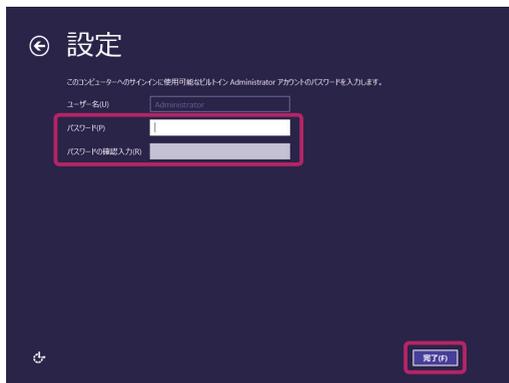
地域設定・キーボードレイアウトについて

OS 動作上の言語などを設定します。通常、表示されたままの状態で行えば、日本語でご使用いただけます。

2. ライセンス条項を確認します。確認後、「同意します」をクリックします。



3. 管理者アカウントのパスワードを入力し、「完了」をクリックします。



ワンポイント

管理者アカウントについて。
管理者アカウントは初期設定は Administrator に固定されています。

ワンポイント

パスワード

OS にログインする時に入力する認証文字列です。半角英数字のみ登録可能です。なお、パスワードは8文字以上。大文字、小文字、数字、記号の内、3種類以上を使用してください。

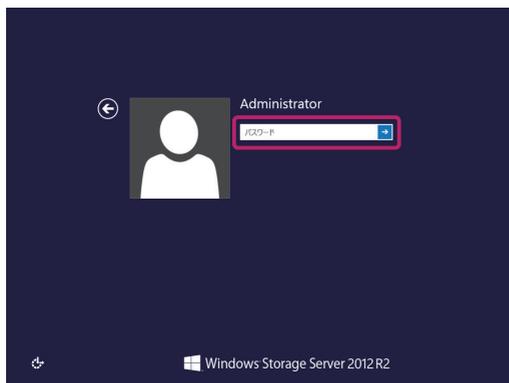
注意

パスワードを忘れてログイン出来なくなった場合、OS の再インストールが必要になります。ご注意ください。

4. Ctrl + Alt + Del キーを押してサインインします。



5. 手順 3 で作成した Administrator パスワードを入力し、ログインします。



6. Windows Storage Server が起動します。



7. Windows Storage Server 起動後、自動でサーバーマネージャーが起動します。



終了の方法

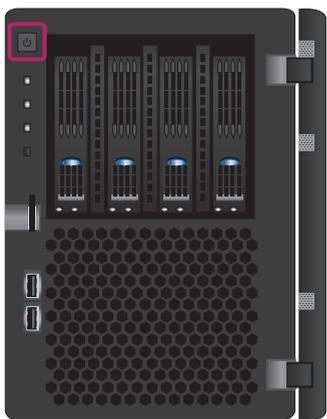
電源の切り方を説明しています。

終了の方法

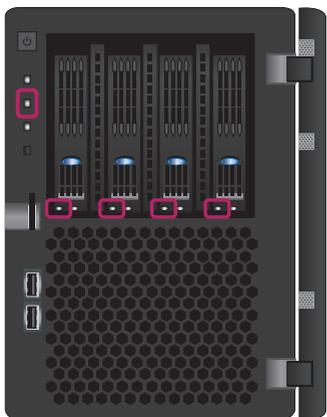
サーバーのシャットダウンの方法は、以下の3パターンから選択できます。

● 本体の電源ボタンでシャットダウンさせる方法

1. 電源ボタンを1回押します。



2. HDD アクセランプが全て消えるまで待ちます。



注意

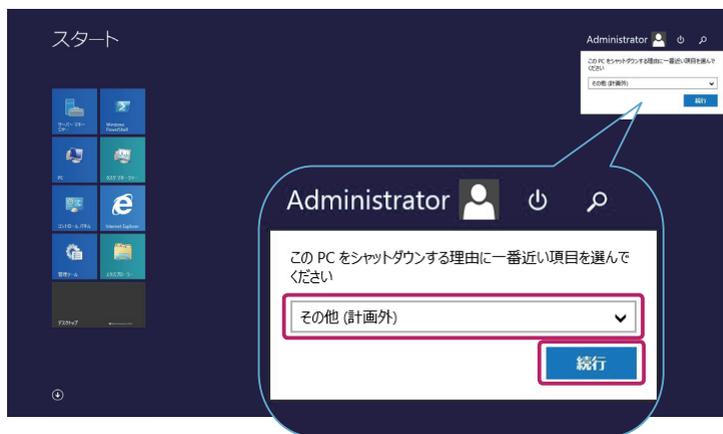
HDD アクセランプ点灯中はサーバーがまだ起動しておりますので、電源コード等を取り外さないでください。システムが破損する可能性があります。

● サーバー OS 上からシャットダウンさせる方法

1. スタート画面右上の「電源マーク」をクリックし、「シャットダウン」をクリックします。



2. PC をシャットダウンする理由に一番近い項目を選択し、「続行」をクリックします。



● ネットワーク上のクライアント PC からシャットダウンさせる方法

1. CHAPTER 3「1. サーバーへの接続方法」を参照して、クライアント PC からサーバーへアクセスします。
2. クライアント PC での操作は、「サーバー OS 上からシャットダウンさせる方法」をご参照ください。

ご利用に関して

- 1 ● サーバーへの接続方法22
- 2 ● ユーザー追加方法25
- 3 ● 共有フォルダの作成29
- 4 ● Windows Update の実行41
- 5 ● 3.5 インチ HDD 交換方法42
- 6 ● RAID BIOS の設定48
- 7 ● Windows Storage Server のメディアリカバリ53

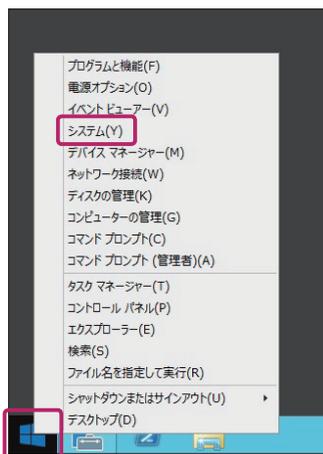
サーバーへの接続方法

ネットワークを通してクライアント PC からサーバーへ接続する方法を説明しています。

サーバーへの接続方法

サーバーの設定を変更するには、ネットワークを通してクライアント PC からアクセスを行う必要があります。

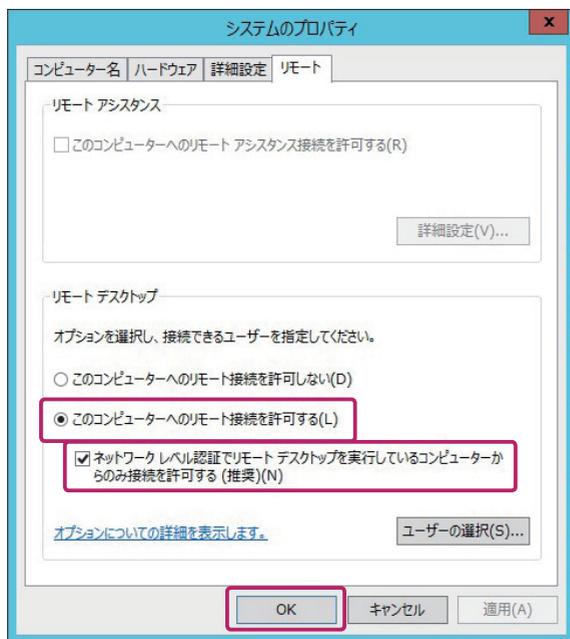
1. 「Windows」マーク上で右クリックし、一覧から「システム」をクリックします。



2. 「リモートの設定」をクリックします。

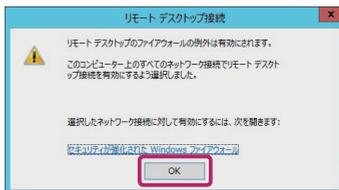


3. 「このコンピューターへのリモート接続を許可する」をクリックし、推奨項目にチェックを入れて、「OK」をクリックします。



ワンポイント

下の画面が表示されたら、「OK」をクリックします。



4. クライアント PC にインストールされている「リモートデスクトップ接続」を起動します。

5. 接続先のコンピューター名を入力後、「接続」をクリックします。
※クライアント PC 側の画面です。



ワンポイント

コンピューター名は、サーバーの「システム」画面でご確認ください。

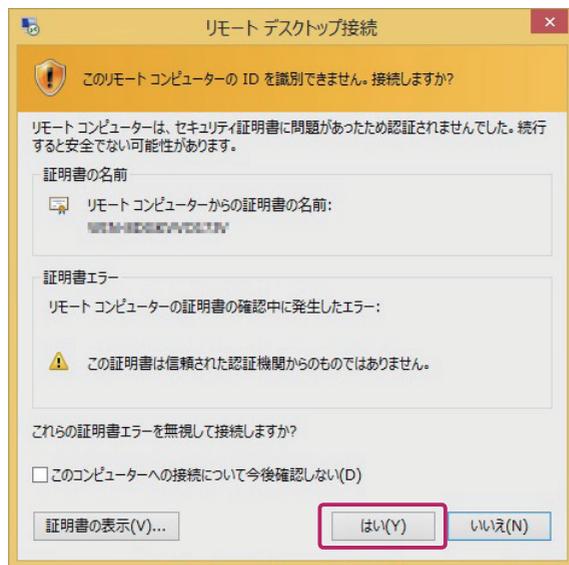
6. CHAPTER 2「3. 初回設定」で作成したユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

※クライアント PC 側の画面です。



7. 以下の画面が表示されたら「はい」をクリックします。

※クライアント PC 側の画面です。



8. サーバーに接続すると、クライアント PC 側の画面にサーバーのデスクトップ画面が表示されます。

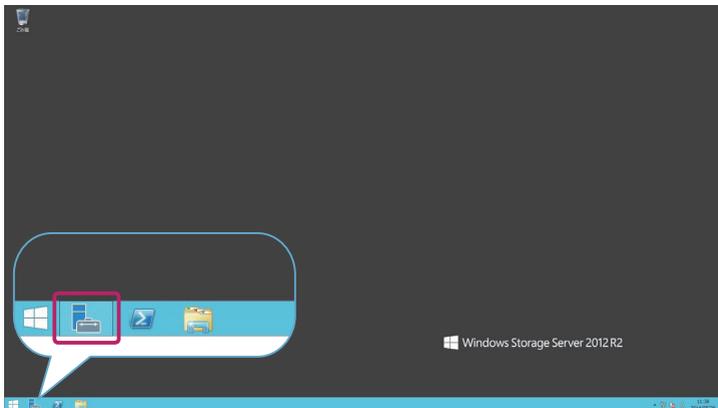
2

ユーザー追加方法

ユーザーの追加方法について説明しています。

新しいユーザーを追加する

1. タスクバーにある「サーバーマネージャー」アイコンをクリックします。



2. サーバーマネージャーの TOP 画面から「ツール」をクリックし、一覧から「コンピューターの管理」をクリックします。

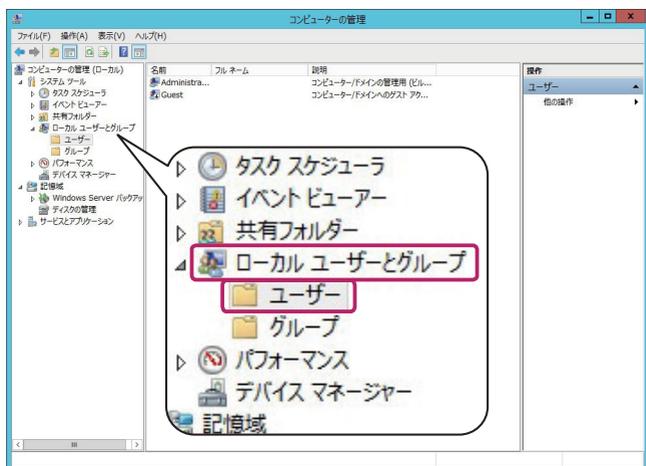


ワンポイント

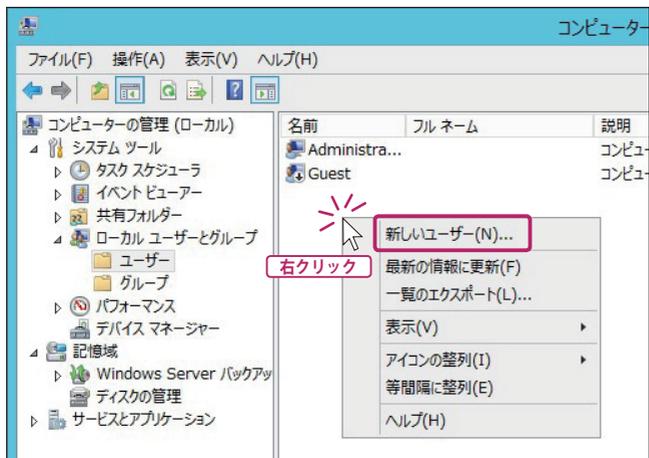
「Windows」マーク上で右クリックして表示される一覧の中にも、「コンピューターの管理」へのショートカットが含まれています。



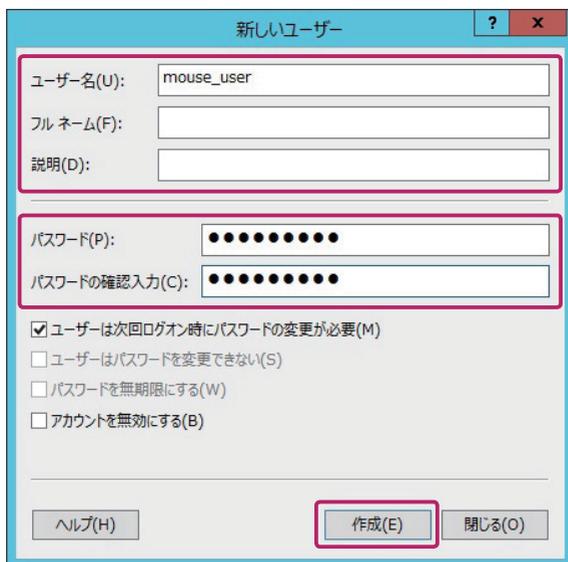
3. 「ローカルユーザーとグループ」をダブルクリックし、「ユーザー」をクリックします。



4. ユーザー一覧の空白箇所でも右クリックし、「新しいユーザー」をクリックします。

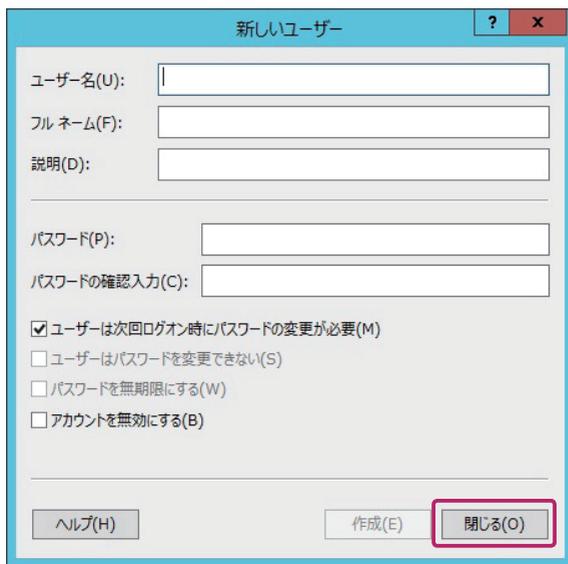


5. 新しいユーザーのユーザー情報を入力します。すべての入力を終わったら、「作成」をクリックします。



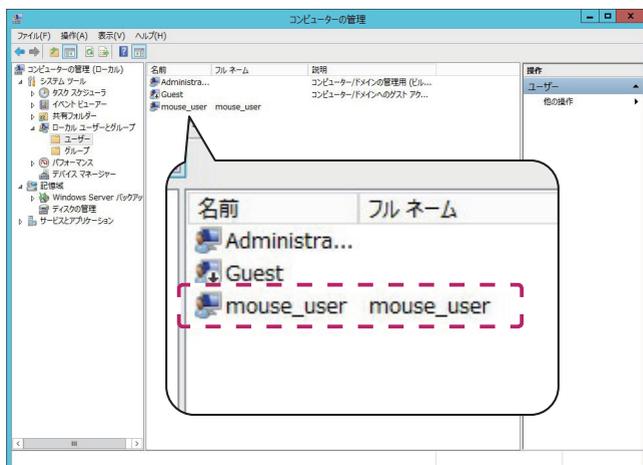
The screenshot shows a dialog box titled "新しいユーザー" (New User) with a standard Windows-style title bar containing a question mark and a close button. The dialog is divided into two main sections. The top section contains three input fields: "ユーザー名(U):" with the text "mouse_user", "フルネーム(F):" which is empty, and "説明(D):" which is empty. The bottom section contains two password input fields: "パスワード(P):" and "パスワードの確認入力(C):", both filled with black dots. Below the password fields are four checkboxes: the first is checked and labeled "ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)", the others are unchecked and labeled "ユーザーはパスワードを変更できない(S)", "パスワードを無期限にする(W)", and "アカウントを無効にする(B)". At the bottom of the dialog are three buttons: "ヘルプ(H)", "作成(E)", and "閉じる(O)". The "作成(E)" button is highlighted with a red rectangular box.

6. 更に新しいユーザーを追加する場合は、手順 5 の作業を行います。作成を終了する場合は「閉じる」をクリックします。



This screenshot shows the same "新しいユーザー" (New User) dialog box as in step 5, but with the "作成(E)" (Create) button disabled and the "閉じる(O)" (Close) button highlighted with a red rectangular box. The input fields and checkboxes are in the same state as in the previous screenshot.

7. 追加したユーザーは、図のように表示されます。



3

共有フォルダの作成

ファイル共有機能を利用した共有フォルダの作成方法を説明しています。

※注意※

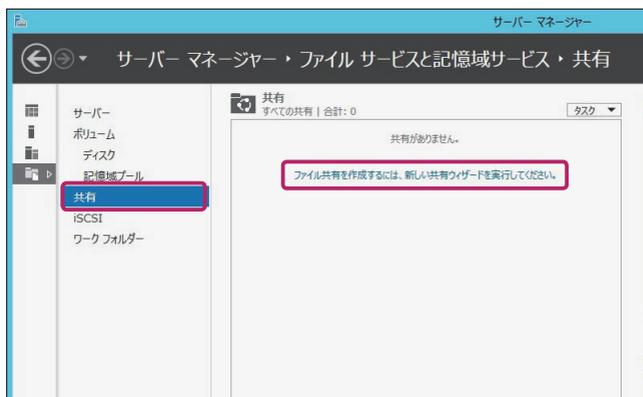
Active Directory 環境でファイル共有機能を利用する場合は、ネットワーク管理者に設定方法をご確認ください。

共有フォルダを作成する

1. サーバーマネージャーを起動し、「ファイルサービスと記憶域サービス」をクリックします。

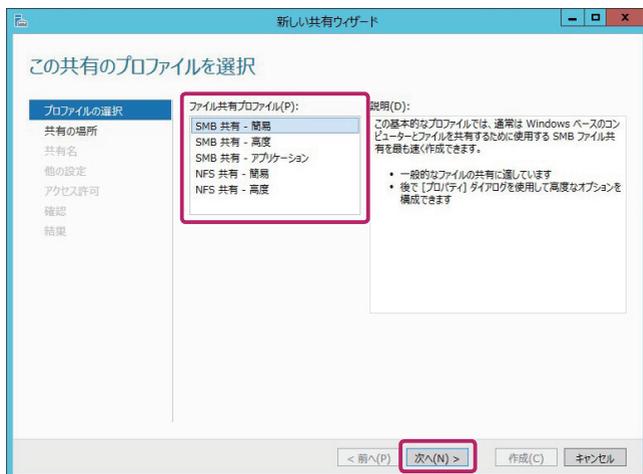


2. 「共有」をクリックし、「ファイル共有を作成するには、新しい共有ウィザードを実行してください」をクリックします。

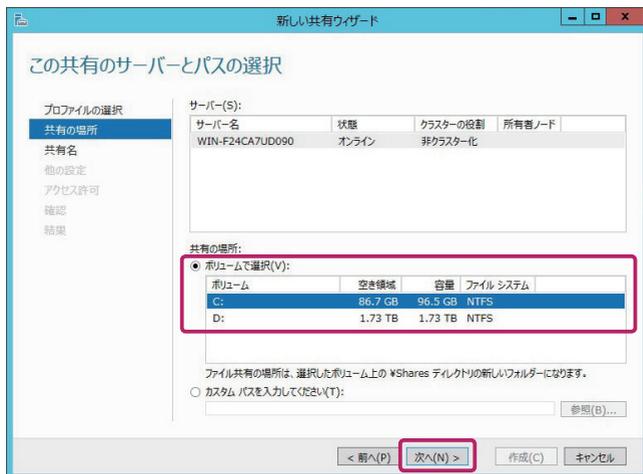


3. ウィザードが開始されます。

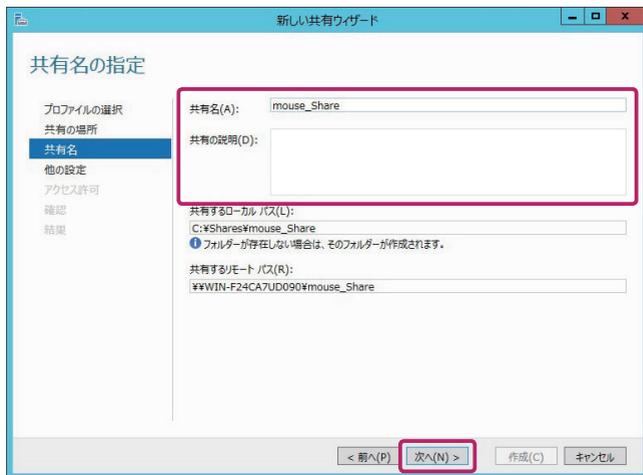
最初の画面では共有の種類を選択します。選択が完了したら「次へ」をクリックします。



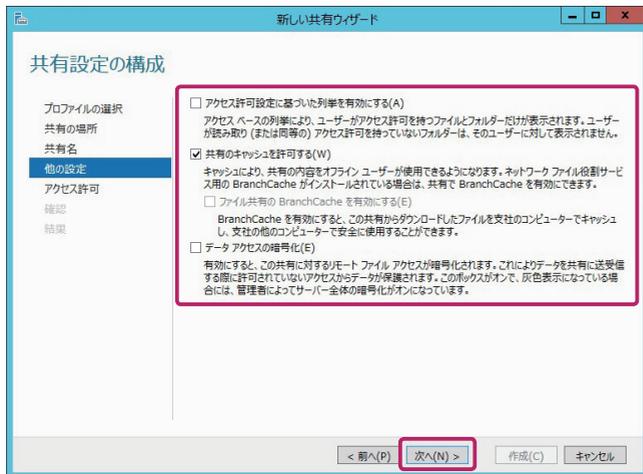
4. 共有フォルダを置くための場所を設定します。設定が完了したら「次へ」をクリックします。



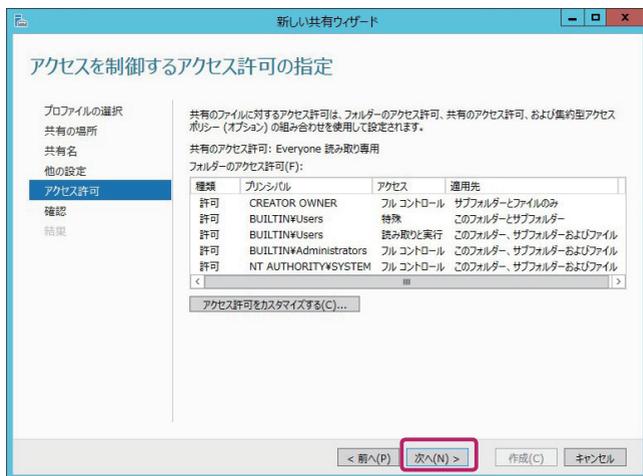
5. 共有フォルダの名称を入力します。入力完了したら「次へ」をクリックします。



6. 必要に応じて追加設定を行います。設定完了したら「次へ」をクリックします。



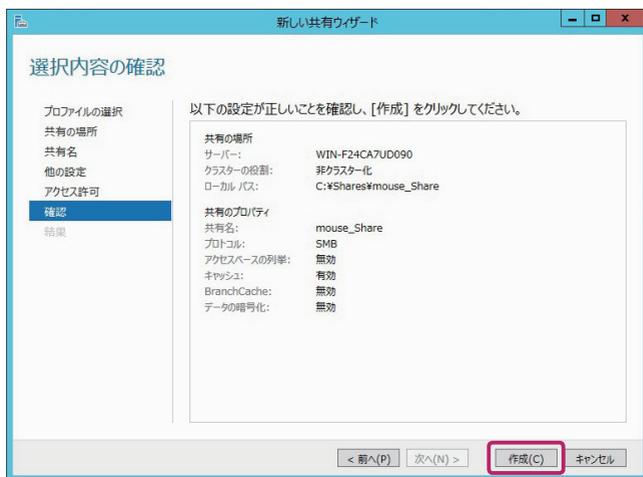
7. アクセス許可を確認し、「次へ」をクリックします。作成したユーザーに対してアクセス権を設定するには「アクセス許可をカスタマイズする」をクリックします。



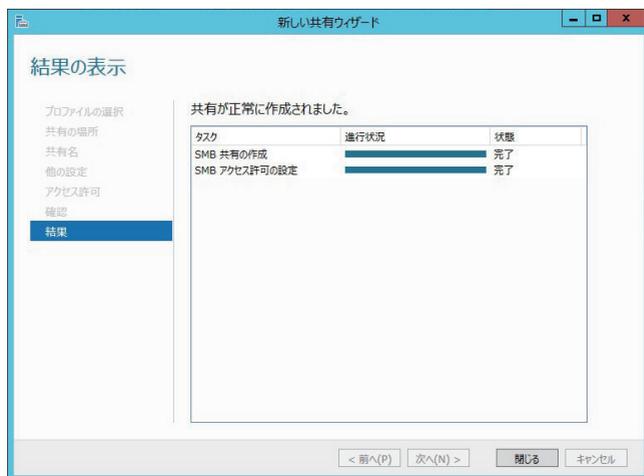
ワンポイント

アクセス許可のカスタマイズの詳細につきましては、後述の「アクセス許可をカスタマイズする（全てのユーザーで読み書き可能にする場合）」「アクセス許可をカスタマイズする（作成したユーザーを追加する場合）」をご参照ください。

8. 設定内容を確認し、「作成」をクリックします。

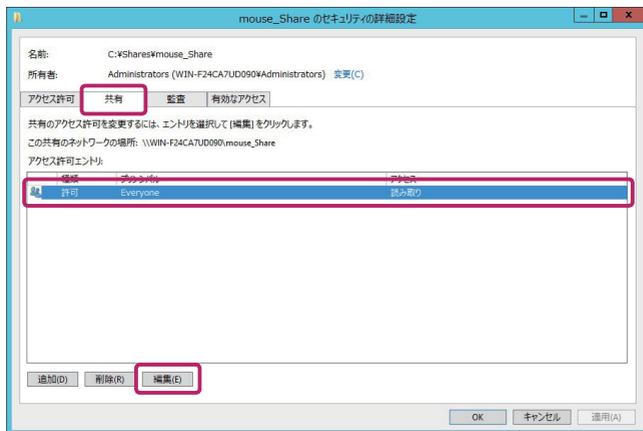


9. 「閉じる」をクリックし、ウィザードを終了します。

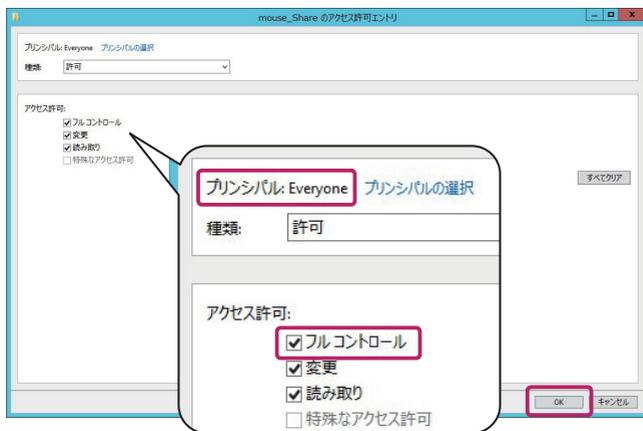


アクセス許可をカスタマイズする (全てのユーザーで読み書き可能にする場合)

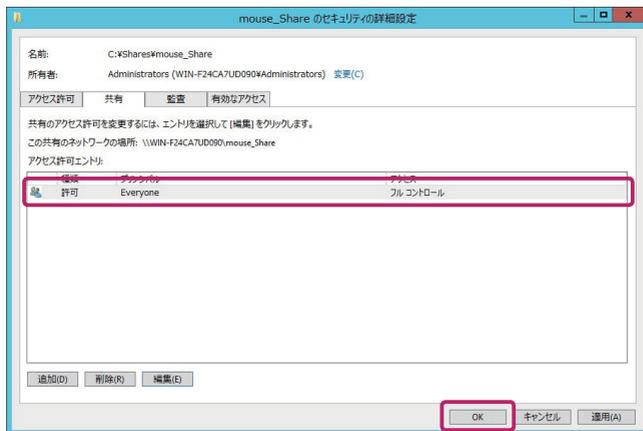
1. 「共有フォルダを作成する」の手順7の画面で、「アクセス許可をカスタマイズする」をクリックします。
2. 「共有」タブをクリックし、ユーザー (Everyone) を選択して「編集」をクリックします。



3. プリンシパルが「Everyone」になっている事を確認し、「フルコントロール」にチェックを入れて、「OK」をクリックします。



4. 「OK」をクリックし、設定を完了します。

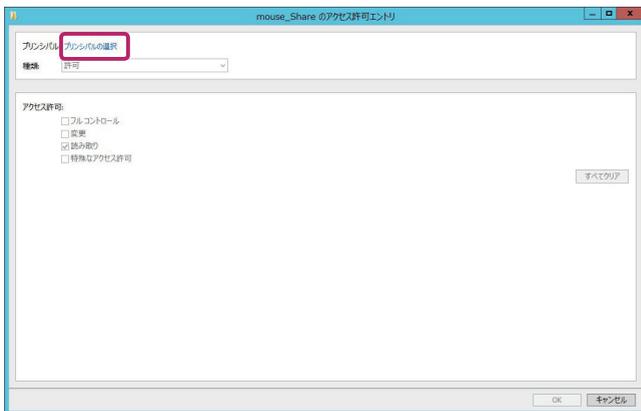


アクセス許可をカスタマイズする (作成したユーザーを追加する場合)

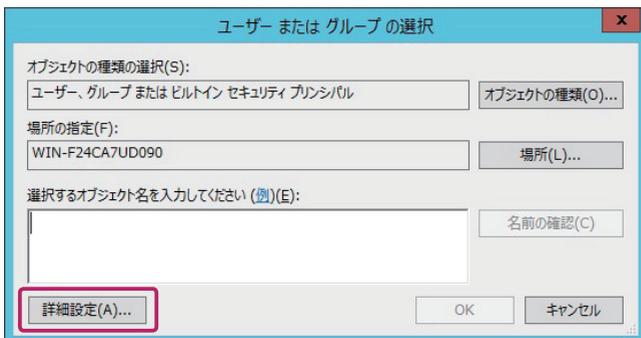
1. 「共有フォルダを作成する」の手順7の画面で、「アクセス許可をカスタマイズする」をクリックします。
2. 「共有」タブをクリックし、「追加」をクリックします。



3. 「プリンシパルの選択」をクリックします。



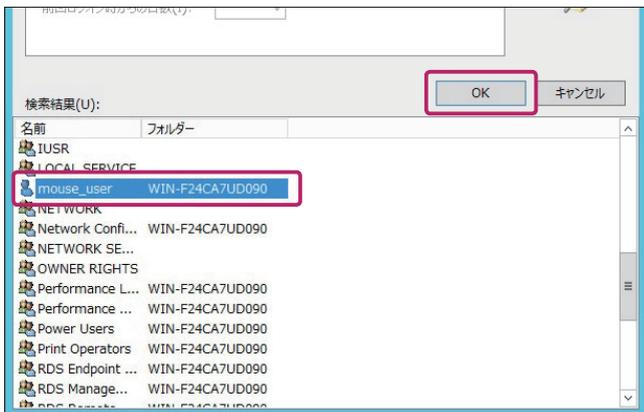
4. 「詳細設定」をクリックします。



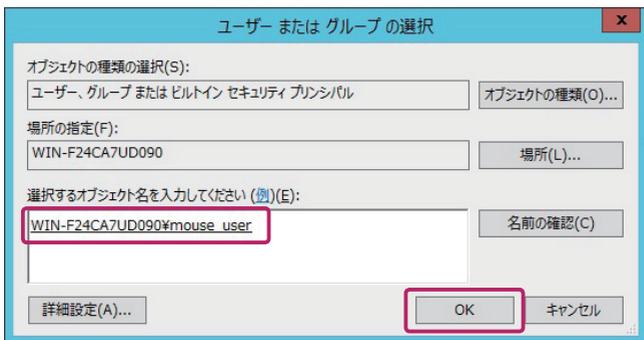
5. 「検索」をクリックします。



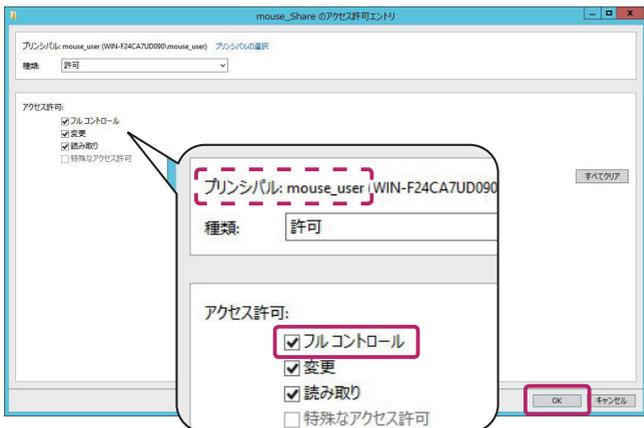
6. 検索結果一覧から対象のユーザー ID を選択して「OK」をクリックします。



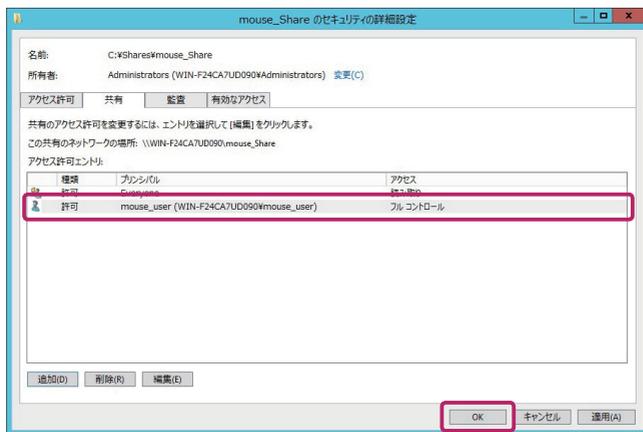
7. ID を確認して問題なければ「OK」をクリックします。



8. 「フルコントロール」にチェックを入れて、「OK」をクリックします。



9. 「OK」をクリックし、設定を完了します。



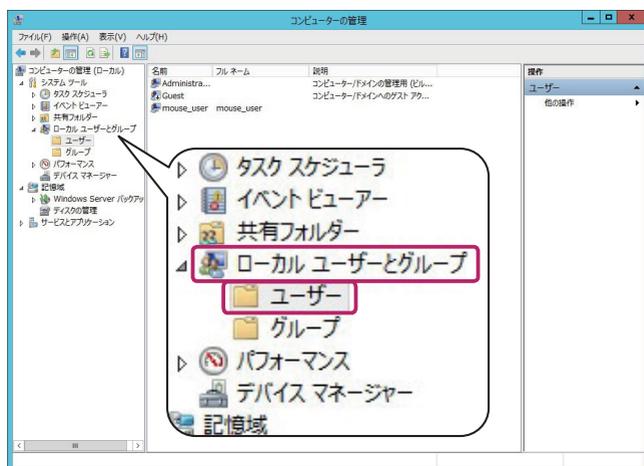
Guest アカウントについて

Windows Storage Server では Guest アカウントが初期設定で無効になっているため、ネットワーク経由で全てのユーザーがアクセス可能にする場合、以下の手順で Guest アカウントを有効にする必要があります。

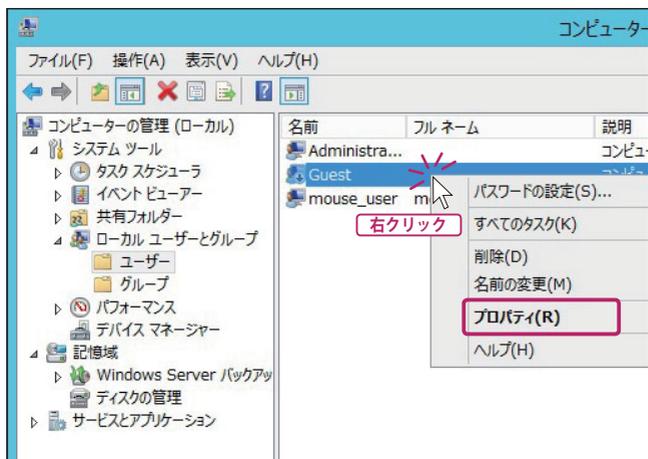
1. サーバーマネージャーの TOP 画面から「ツール」をクリックし、一覧から「コンピューターの管理」をクリックします。



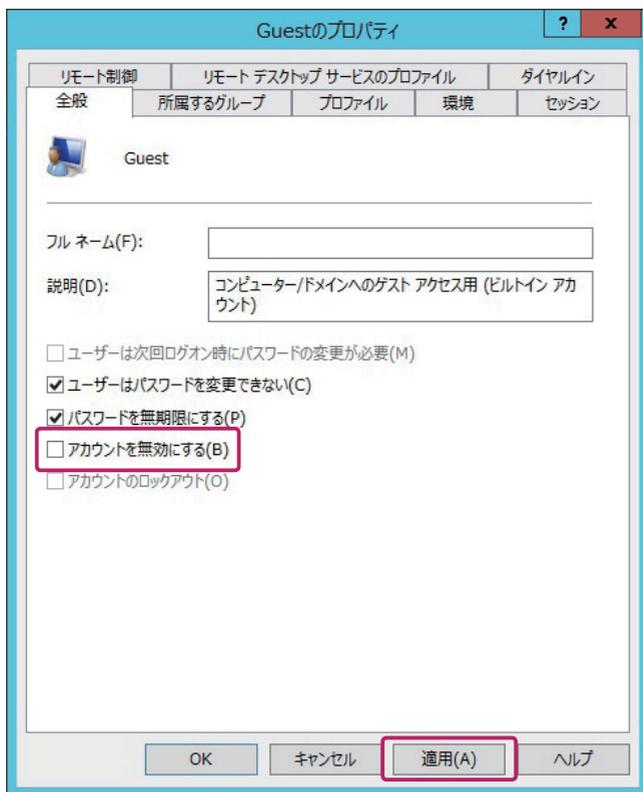
2. 「ローカルユーザーとグループ」をダブルクリックし、「ユーザー」をクリックします。



3. 「Guest」アカウント上で右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



4. 「アカウントを無効にする」のチェックを外し、「適用」をクリックします。



4

Windows Update の実行

Windows Update の実行について説明しています。

Windows Update を行う事で、OS に対して既知の問題点 (脆弱性、不具合) のパッチが適用されます。必要に応じて適用下さい。

Windows Update を実行する

1. 「サーバーマネージャー」内の「ローカルサーバー」をクリックし、「Windows Update」の項目にある「未構成」をクリックします。



注意

Windows Update は本製品がインターネットへ接続できる環境で行って下さい。

2. 「自動更新を有効にする」をクリックします。



注意

本製品の出荷時状態は、自動更新が「無効」になっています。

3. 更新プログラムのダウンロード、インストールが行われます。完了するまでしばらくお待ちください。

3.5 インチ HDD 交換方法

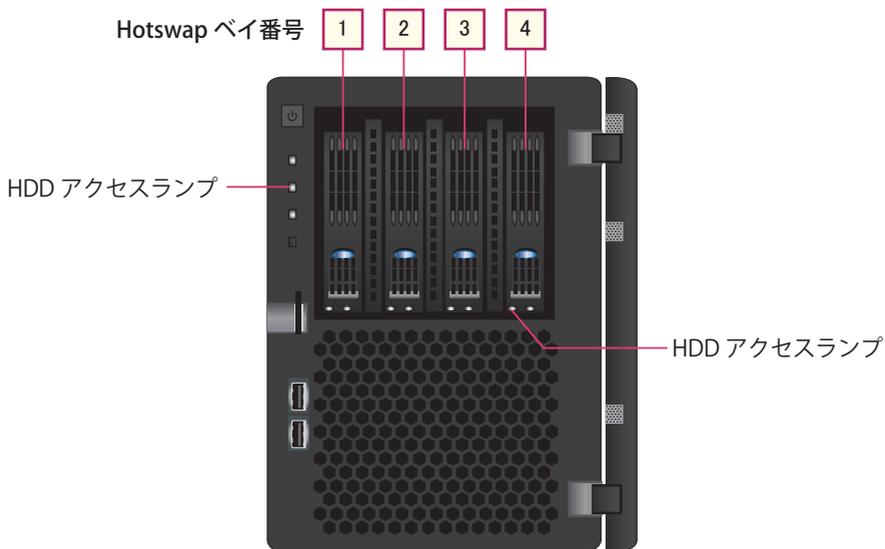
3.5 インチ HDD の交換方法について説明しています。

本製品の 3.5 インチ HDD を交換する場合、以下の手順で新しいドライブを組み込むことが出来ます。本製品は Hotswap に対応しているため、ディスクの交換は電源が ON の状態で行えますが、**必ず対象 HDD のアクセスランプが点灯していない状態で交換を行ってください。**

3.5 インチ HDD 交換前の注意事項

本製品では 2.5 インチ SSD を Hotswap ベイでは無くケース内の専用ベイに取り付けております。3.5 インチ HDD のみの構成と 2.5 インチ SSD が搭載されている構成とでは Hotswap ベイの番号と SATA ポート番号が異なりますのでご注意ください。HDD 交換作業の前には Hotswap ベイの番号と SATA ポート番号の組み合わせをご確認の上、作業を行ってください。

Hotswap ベイ番号	1	2	3	4
SSD 未搭載	SATA ポート 0	SATA ポート 1	SATA ポート 2	SATA ポート 3
SSD 1 台搭載	SATA ポート 1	SATA ポート 2	SATA ポート 3	SATA ポート 4
SSD 2 台搭載	SATA ポート 2	SATA ポート 3	SATA ポート 4	使用できません



3. 故障した HDD を取り出します。

故障した HDD が接続されている SATA ポートに対応する Hotswap ベイを開けて HDD マウンタを取り出してください。

※注意※

RAID1/RAID5 の場合、一度に取り出し可能なディスクは 1 台のみとなります。2 台以上取り出すと正常動作しくなくなります。

①水色のロック部品を引き上げ、HDD マウンタのロックを外します。

②レバーを持って、HDD マウンタを取り出します。



4. HDD を交換します。

ネジを 4 本外し、新しい HDD に交換します。



5. HDD マウンタをサーバーに装着します。

① HDD マウンタの○印部分を押し、奥までスライドさせます。

② 矢印部分を押し、HDD マウンタをロックします。



注意

HDD マウンタをサーバーに装着する際は、レバーを押してスライドさせないでください。レバーを押してスライドさせると、サーバー内部の Hotswap コネクタが未接続の状態で HDD マウンタがロックされる場合があります。



注意

下記写真をご参照いただき、HDD マウンタが正常に装着されていることをご確認ください。

『正常に装着された状態』



『正常に装着されていない状態』



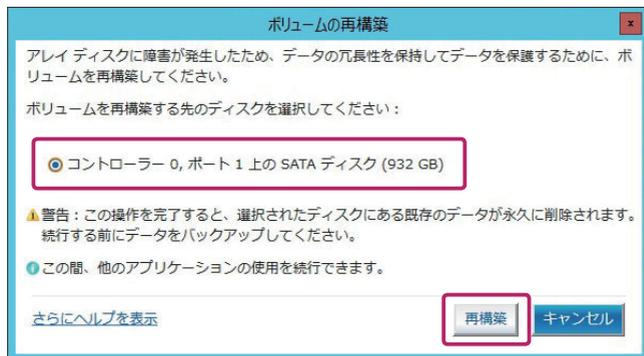
6. 交換した HDD が「インテル® ラピッドストレージ」上で認識されている事を確認します。



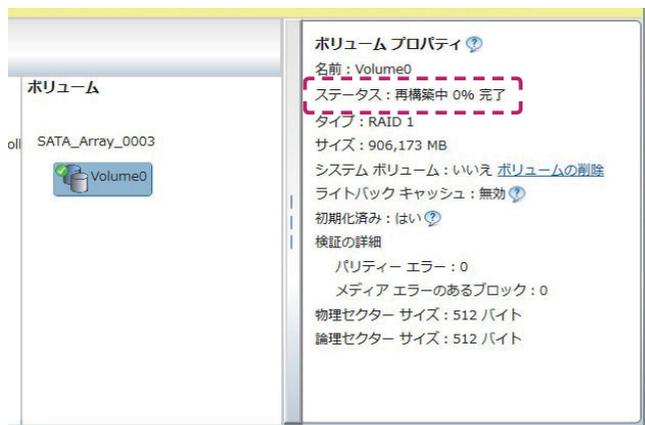
7. 修復対象の RAID Volume を選択し、ボリュームプロパティ内の「別のディスクに再構築」をクリックします。



8. 交換した HDD を選択し、「再構築」をクリックします。



9. 再構築が完了するまでお待ちください。再構築の進捗はボリュームプロパティ内の「ステータス」で確認できます。



10. ボリュームプロパティ内の「ステータス」が「正常」になりましたら再構築が完了となります。



6

RAID BIOS の設定

内蔵ハードディスクが2台以上接続されていれば、RAID 環境を構築することができます。

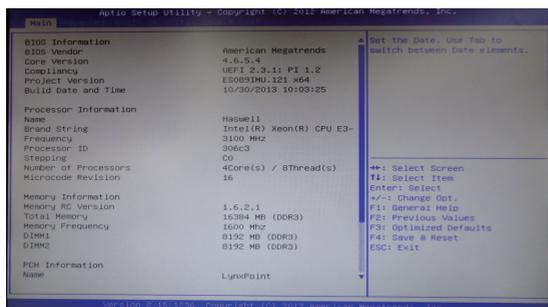
※注意※

RAID の設定を行うと、ハードディスク内のデータはすべて消去されてしまいます。必要なデータが残っている場合は、必ずバックアップを行ってから作業を行ってください。

RAID BIOS で RAID 環境を構築する

1. BIOS を開く。

電源をオンにして、「Delete」キーを続けて打ちます。しばらくすると BIOS 画面が表示されます。



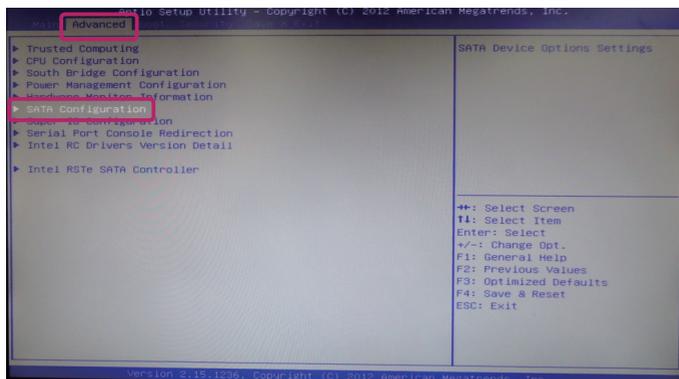
注意

「Delete」キーを打つタイミングが遅れると、BIOS 設定画面が表示されません。表示されなかった場合は、再度、手順「1」の操作を行ってください。

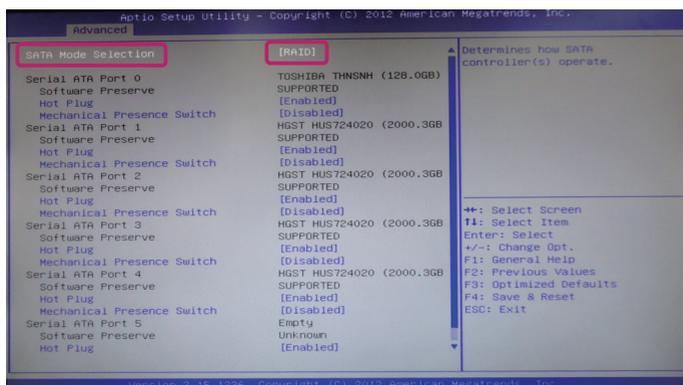
ワンポイント BIOS 実行キー

機能キー	指令	説明
ESC	終了	サブメニューを終了して、前のメニューに戻ります。または、Exit 画面に移動する際にも使用します。
Enter	サブ画面へ移動	サブメニューを表示します。
F3	BIOS 初期化	BIOS の設定を初期状態に戻します。
F4	保存して終了	変更を保存して、サーバーを再起動します。
←→	領域の選択	前または次のメニューを選択します。
↑	項目の選択	次の上の項目を選択します。
↓	項目の選択	次の下の項目を選択します。
-	より低い値	領域に次の値を選択します。
+	より高い値	領域に次の値を選択します。

2. 「Advance」を選択し、「SATA Configuration」を選択後「Enter」キーを押します。

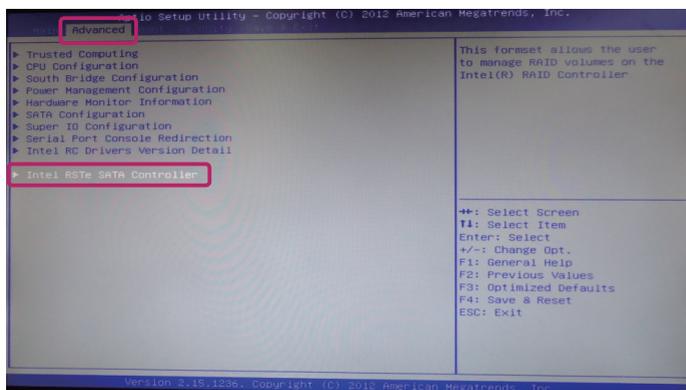


3. 「SATA Mode Selection」を選択後「Enter」キーを押し、「SATA」モードを「RAID」モードに変更します。

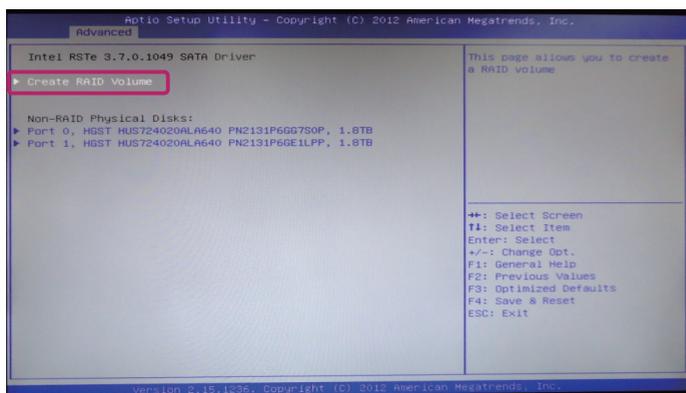


4. 「F4」キーを押して設定を保存したら、再起動させます。

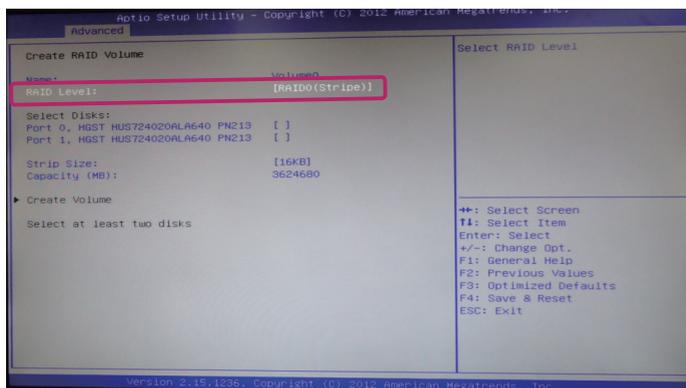
5. 再度 BIOS 画面を開き、「Advance」から「Intel RSTe SATA Controller」を選択します。



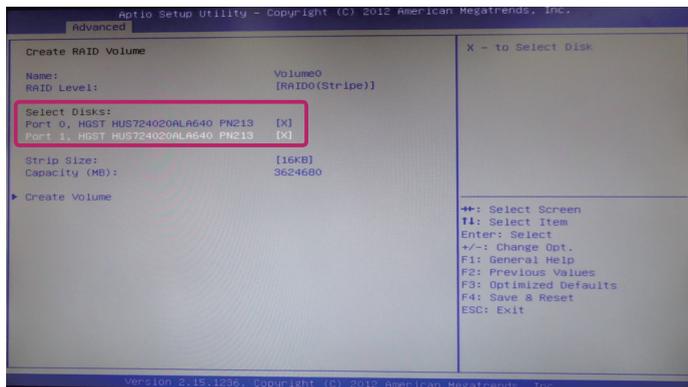
6. 「Create RAID Volume」を選択し、「Enter」キーを押します。



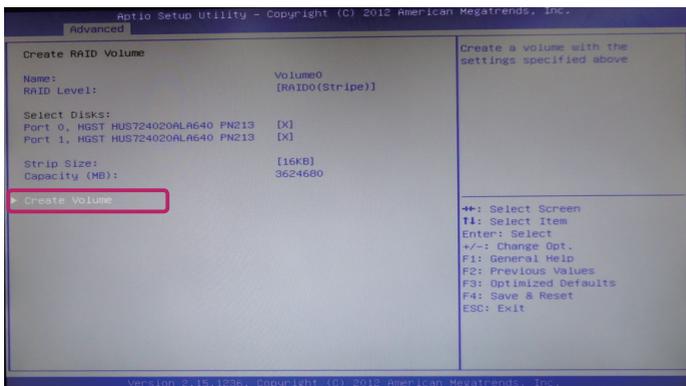
7. 使用する「RAID Level」を選択します。



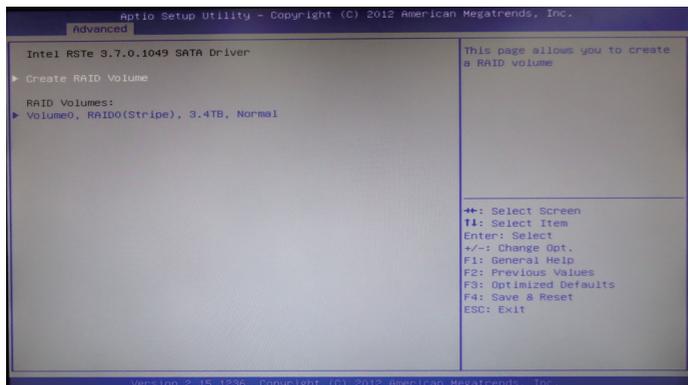
8. RAID に使用する DISK を選択します。



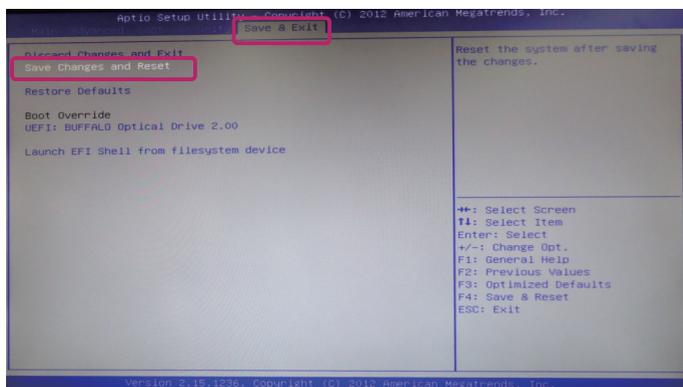
9. 「Create Volume」を選択し、「Enter」キーを押します。



10. 「Volume」が作成されたか確認します。



11. 「Save & Exit」を選択し、「Save Changes and Reset」を選択後「Enter」キーを押します。



Windows Storage Server の メディアリカバリ

致命的なトラブルが Windows 上に発生した場合、Windows を再インストールすることで問題を解決いたします。

※注意※

再インストール作業を行うと、ハードディスク内にあるデータはすべて消去されます。必要なデータが残っている場合は、バックアップを取ってから作業を行ってください。また、USB 記憶装置などは、本体から取り外した状態で作業を行ってください。

本製品には、**光学ドライブが搭載されていません**。再インストールを実行する際は、別途 USB 接続の光学ドライブをご用意ください。

Windows Storage Server を再インストールする

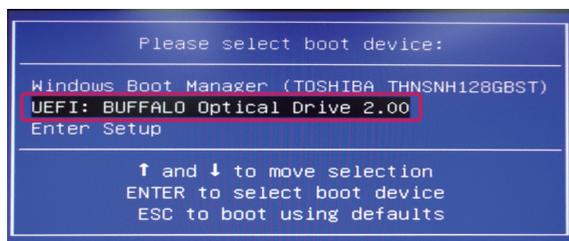
1. 電源をオンにして、「Boot Menu」が立ち上がるまで「F11」キーを続けて打ちます。



注意

作業開始前に、インストール DVD を USB 接続の光学ドライブに挿入しておきます。

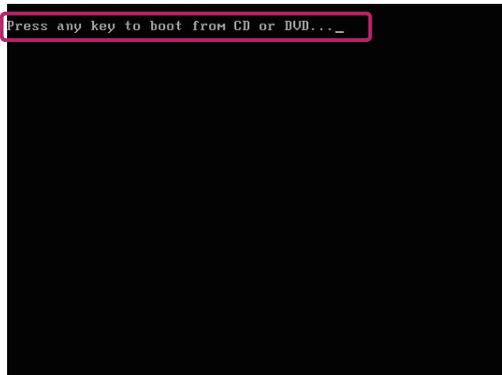
2. 光学ドライブを選択し、「Enter」キーを押します。



注意

表示されている Boot device 名は、環境により異なります。また、UEFI Boot に対応していないメディアが挿入されている場合、「UEFI：光学ドライブ名」の項目は表示されません。

3. 「Press any key to boot from CD or DVD…」と表示されているときに「Enter」キーを続けて打ちます。

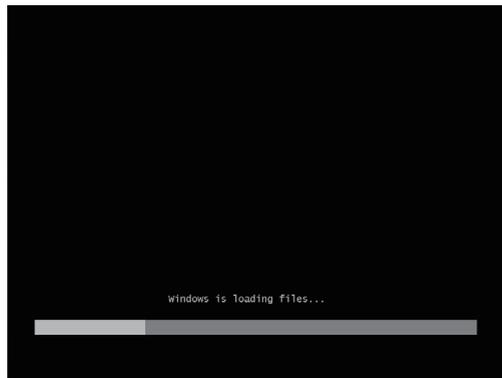


Press any key to boot from CD or DVD..._

注意

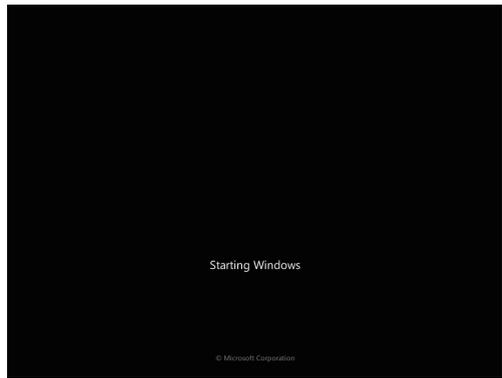
Windows が通常に起動した場合は、「Enter」キーを打つタイミングがずれていた可能性があります。再起動して、もう一度、同じ操作をお試しください。

4. Windows のファイルの読み込みが始まります。



Windows is loading files...

5. インストールの初期設定が始まります。完了するまで、しばらくお待ちください。



Starting Windows

© Microsoft Corporation

6. Windows セットアップが開始されたら、画面に表示された手順に従い再インストール作業を進めてください。

7. Windows の再インストールが完了し、初回設定の画面が表示されたら、CHAPTER 2「3. 初回設定」を参照して、初回設定の作業を行ってください。

